

第 2 号議案

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）に関する 事業評価について（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）

国土交通省では、バス・タクシー・レンタカー事業者が、車両導入、施設整備等を進める際の取り組みを支援（導入経費等費用の一部を補助）しておりますが、補助事業を活用した場合には、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の 1 月末までに、地方運輸局へ事業評価の内容を報告することとなっております。

今回、令和 4 年度において、福祉タクシー事業を行う K E L（九島エンジョイライフ）の中平喜則氏が、福祉タクシー車両導入に係る補助事業を活用されたため、その事業評価内容についてご審議いただくものです。

概 要

(1) 申請事業者及び事業内容

・ K E L (九島エンジョイライフ) スロープ付きタクシー車両 1台

(2) 補助率

補助対象経費(車両本体価格)の1/3または各上限額のいずれか低い額
 上限額 スロープを装備する車両 1台あたり 60万円

(3) 事業の流れ(要望調査～車両導入まで)

月	内 容
R4. 2月 ～3月	要望調査
3月～4月	四国運輸局、国土交通省の審査
4月下旬	内示
6月	協議会承認、計画提出・交付申請 ⇒ 国土交通省の審査
7月	交付決定 ⇒ 車両導入

(4) 導入実績



導入設備	福祉タクシー(リフト付き以外) 1台						
補助対象経費	2,160,000円						
補助金額	600,000円						
利用者数	導入前後の8月～12月を比較						
		8月	9月	10月	11月	12月	合計
	導入前(人)	79	80	80	68	131	438
導入後(人)	107	80	94	92	108	481	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業）

令和6年1月 日

協議会名：宇和島市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：バリアフリー化設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
KEL （九島エンジニアライフ）	福祉タクシー （スロープ付車両）の導入	なし	A 計画どおり事業は適切に実施された	以前の車両より小型化したことで、これまでより細い道でもドアツードアのサービスができるようになり、要介護者、障がい者などの交通弱者の移動ニーズへの対応がより可能になった。 【利用者数】8月～12月の比較 ・導入前：438人 ・導入後：481人（+43人）	誰もが安全・安心で快適に利用できる交通環境を充実させるよう、福祉タクシー車両の導入を促進していく。

A: 事業が計画に位置付けられた目標を達成した（する見込み）

B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）

C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）